

日本の知恵、
プラスチックの知恵

命を護った、一枚の赤い布

「熊谷はかちのひたたれにあか皮おどしの鎧きて、紅のほろをかけ」は、源氏方の武将、熊谷直実の戦場の出で立ちの様子を描いた平家物語の一節。

「ほろ」とは布製の武具「母衣」^{ほろ}のことで、敵の矢を防ぐために鎧の上から背にかけた大形の布。風で膨らんだ母衣は流れ矢を防ぎ、味方には存在を示す標識にもなりました。一枚の布が武具？と思うでしょうが、矢は堅いものにあたると危害を与え、逆に布のような柔らかいものでは、その勢いがそがれて身体を保護することを知っていたのです。

そして、日本の山林の木陰に凜と咲くのは、ラン科の多年草クマガイソウ。膨らんだ赤い花の唇弁を赤い母衣に見立て、戦の攻防が巧みだった武将熊谷直実の名前がつけられています。

前進する攻めと護りのバランスは、検査・診断・創業に貢献する住友ベークライトのバイオ関連製品・技術にも似ています。プラスチック加工と材料設計という2つの技術力で、日々の積み重ねの上に確立されています。



世界中のお客様と共に、バイオ医薬・再生医療・診断検査の分野に新しい価値を創っていききたい。S-BIO®は私たちの熱い想いとおお客様の信頼をのせたブランドです。

母衣

プラスチックのパイオニア

 住友ベークライト株式会社

S-バイオ事業部

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目5番8号 天王洲パークサイドビル
TEL:03-5462-4831 FAX:03-5462-4835 <http://www.sumibe.co.jp>